

関西健康・医療創生会議 設立趣意書

本格的な少子高齢、人口減少社会が到来するなか、関西において健康長寿社会を実現していくためには、健康・医療分野でのこれまでの知の蓄積を生かし、今こそ、新たな学問や技術を発展させ、新産業を創出することで、関西の経済的・文化的価値を高めることが必要である。

関西は、京都・大阪・神戸という特色ある都市をはじめ、多様性のある文化圏を形成しており、長い歴史に基づく文化遺産、美しい自然など、わが国で最もよい環境に恵まれている。

さらに、科学技術の面でも、世界によく知られた優れた大学や研究機関があり、医学、薬学、工学、農学など学術分野のレベルも高いことに加え、ものづくり関連産業の世界に誇る伝統と高い技術力を持った人材を有している。かつ、新しい科学技術を生み出す基盤となるクラスターも形成されており、関西のポテンシャルはきわめて高い。

このような状況を踏まえ、健康長寿を達成するための新たな産業の創造、また安心かつ健康に生活できる持続可能性のあるまちづくりを検討するために、第 53 回関西財界セミナーの成果であるビジョンの実現など健康・医療に関する事業を推進する経済団体、日本医学会総会 2015 関西で決定した健康社会宣言の実現を目指す大学・研究機関、そして「医と健康フォーラム 2015 関西」において産学官連携のプラットフォームを提案した関西広域連合が、関西における新たなプラットフォームとなる関西健康・医療創生会議を設立する。

平成 27 年 7 月 23 日

関 西 広 域 連 合 長		井 戸 敏 三
公益社団法人関西経済連合会	会長	森 詳 介
大 阪 商 工 会 議 所	会頭	佐 藤 茂 雄
京 都 商 工 会 議 所	会頭	立 石 義 雄
神 戸 商 工 会 議 所	会頭	大 橋 忠 晴
一般社団法人関西経済同友会	代表幹事	村 尾 和 俊
京 都 大 学 名 誉 教 授		井 村 裕 夫